

労働力調査（基本集計）

2024年（令和6年）1～3月期平均

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6723万人と、前年同期に比べ38万人の増加
- ・ 完全失業者数は175万人と、前年同期に比べ2万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.5%と、前年同期に比べ0.1ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、南関東、近畿、中国、九州及び沖縄は増加、北海道及び東北は同数、北関東・甲信、北陸、東海及び四国は減少

- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、東北、近畿、中国及び九州は増加、北関東・甲信及び四国は同数、北海道、南関東、北陸、東海及び沖縄は減少

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	2.4%	(0.2ポイント低下)	近畿	2.9%	(前年同期と同率)
東北	3.0%	(0.2ポイント上昇)	中国	2.1%	(0.1ポイント上昇)
南関東	2.6%	(0.1ポイント低下)	四国	2.3%	(0.1 ")
北関東・甲信	2.2%	(0.2 ")	九州	2.5%	(0.1 ")
北陸	2.1%	(0.4 ")	沖縄	3.2%	(0.2ポイント低下)
東海	2.1%	(0.2 ")			

図1 地域別完全失業率

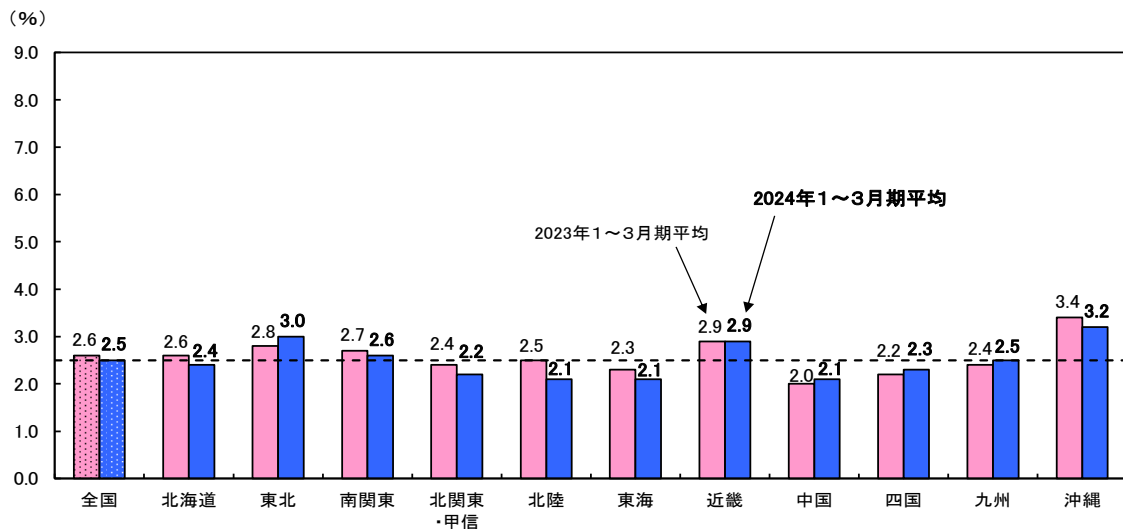


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

